

温泉カルテ

〔施設名〕 ホテル白菊



温泉の利用情報

平成17年4月現在 施設申告
〔浴槽名〕 楠湯

循環	無	
加温	無	
加水	有	理由: 源泉が高温のため、入浴に適した温度にするため 加水程度: 源泉率およそ95%、溶存物質合計(浴槽) 928mg/kg ※源泉率: 下記の源泉及び浴槽の成分分析結果から以下の式で算出しております。季節等によって変動しますのであくまで参考としてください。また、時間経過や冷却により源泉の成分総量が減少する場合があります。 源泉率(%) = (浴槽内分析値) ÷ (源泉分析値) × 100
入浴剤及び殺菌剤	無	
その他	無	源泉所有者 自家源泉 飲泉許可 無

お湯の感覚評価

評価実施員 べっふ温泉Gメン
評価実施日 平成17年5月6日
評価場所 菊湯殿・奥の岩風呂

■お湯の特徴: 別府八湯の別府エリアに多い重曹系のクリアな湯。
■お湯の個性: *温泉の多様性を表現するものであり、この温泉を飲むことはできません。
つるつる感 酸味 苦味 塩味 甘味
泡つき 硫黄臭 モール・油臭 その他の温泉臭 珍しさ



■浴感と成分の解説:
無色透明の湯、NaHCO₃(重曹)によると思われるわずかなつるつる感が感じられる。それ以外の個性はほとんど感じられないクリアな純水に近い湯であると言える。NaHCO₃を含む湯は美人の湯と言われることが多い。

浴槽内・源泉の温泉分析情報

浴槽の情報 (楠湯)

■泉質: アルカリ性単純温泉に相当

■成分値

■浴槽容量: 97,550リットル
■温泉投入量: 5,000リットル/時
■浴槽までの距離: 10m
■浴槽湯の交換頻度: 2日に1回
■レジオネラ: 検出されず
(平成16年4月8日)
測定年月日 平成16年9月27日

源泉の情報 (ホテル白菊)

■泉質: 単純温泉

■成分値

■湧出量: 5,700リットル/時
■源泉温度: 60℃
■掘削深度など: 150m エアーポンプ
■掘削年月日: 平成12年8月
測定年月日 平成16年9月27日

数値の **ポイント** ●浴槽と源泉の「泉質」が同じであれば、源泉に近い泉質のお湯に浴槽で浸かっていることになります。
●泉質や成分が異なっている場合は、加水が主な原因と考えられます。「温泉の利用情報」の「源泉率」を参考にしてください。

温泉分析書 (浴槽湯分析)

項目	測定値	単位	基準値
Na+	143.9	mg/kg	
Ca2+	12	mg/kg	
Mg2+	27.5	mg/kg	
SO42-	928	mg/kg	
Cl-	41.8	mg/kg	

温泉分析書

項目	測定値	単位	基準値
Na+	133.4	mg/kg	
Ca2+	15	mg/kg	
Mg2+	18.5	mg/kg	
SO42-	974	mg/kg	
Cl-	52.5	mg/kg	

浴用の適応症 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進

浴用の禁忌症 急性疾患(特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中(特に初期と末期)

※適応症、禁忌症は、浴槽の分析結果に基づいて記載しております

注意上の事項

- 入浴中は安静にし、入浴後は休息をとる。
- 熱い温泉に急に入るとのめい等を起こす事があるので十分注意すること。
- 入浴時間は、はじめ3~10分がよい。
- 最初の数日間は、入浴回数を1日1回とし、その後1日2~3回までとする。
- 入浴をはじめ3~7日後に「湯あたり」が現れることがある。その時は1~2日休浴して再び入浴をつける。
- 温泉浴後に必要な期間は2~3週間である。
- 原則として、次の疾患の者は高温浴(42℃以上)を禁忌とする。(高度の動脈硬化症・高血圧症・心臓病)
- 入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さないこと。(湯ただれを拭きとらずに入浴後、真水で身体を洗うか、拭取る)
- 食事の前、直後の入浴は避けることが望ましい。
- 飲酒しての入浴は特に注意すること。